

HYCU R-Cloud SaaS for Microsoft 365

(略称: HYCU for M365)

安全な世界の実現へ、すべてのデータに最適な保護を提供

バックアップは必要？バックアップが無くて困るケース

ユーザー任せのデータ保護を会社主体のデータ保護に切り替えることが重要

➤ ユーザー目線

- 複数端末で接続しているOneDrive上のワードやエクセルファイルが意図しない世代になっている
- 削除したつもりはないが、探しているメールやファイルが見つからない

➤ 会社目線

- 社員からデータの復旧要請があるが、どこにデータがあるか分からない、無い物は無い
- 社内ポリシーのデータ管理規則を社員が守らず、データが勝手に削除されることがある
- 故意または過失、社内または社外からの攻撃からデータを保護したい
- ランサムウェアに感染するとデータが使えなくなるが、その場合の復旧手段がない
- 辞めた社員のデータを残しておきたいが、M365のアカウントを消すと無くなってしまう

Microsoft 365がネイティブで持つデータ保護機能

プランによりセキュリティ機能は充実するが、データ保持機能は限定的

- 保持ポリシー
 - 特定のデータやフォルダを自動的に削除する前に保持期間を設定可能
- 訴訟ホールド
 - ユーザーがメールボックスのデータを削除してもデータを保持する機能
 - メールボックス毎に設定が必要

データ保持・保護はMicrosoft 365だけでは不十分

機能	HYCU R-Cloud (旧 HYCU Protégé)	M365標準機能	概要
保護対象	Exchange、OneDrive、SharePoint、Teamsのドキュメント	ドキュメントはゴミ箱からの復元のみ、Teamsは過去30日分のみ	ユーザーデータの統括的なバックアップが可能
データ保持期間	容量・保持期間無制限	1 - 3ヶ月のみ	容量・期間共に無制限に保持し、いつでも復元可能
復元の粒度	メールやファイル単位の復元が可能	12時間ごとのみ ゴミ箱からの復元のみ	粒度の細かな復元を実現
復元先	別の場所への復元、ローカルへのダウンロード、ファイル重複時の対応など	元の場所への復元のみ	さまざまな復元先に対応
保存先	Azure以外の国内クラウドストレージに保存	M365外部への保存なし	DR対策やセキュリティ要件の厳しい環境へ対応

※概要のため、詳細はMicrosoftの資料をご参照ください

OneDriveはバックアップ先？NASとの同期でもいいの？

クライアント端末のファイルの保存場所としては有効 ≠ バックアップ

課題：

そもそもファイル同期/共有ソリューション

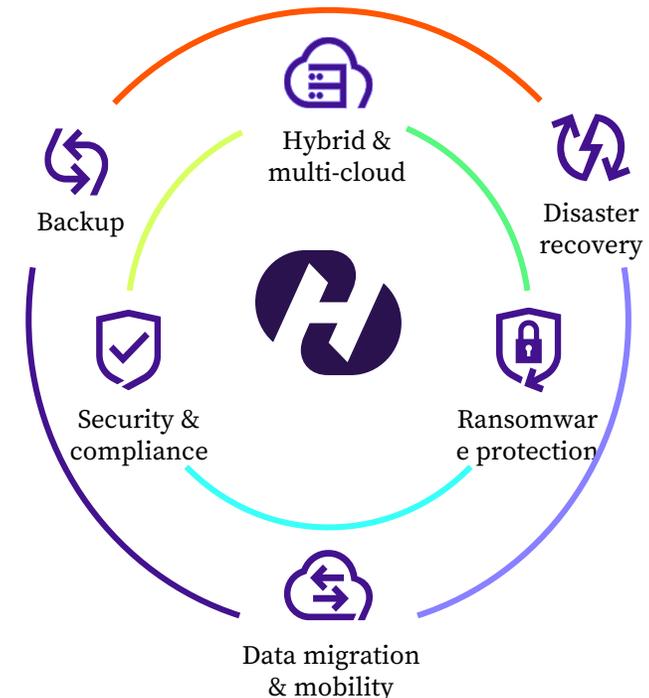
- 同期次第で意図しない上書きが発生するリスク
- データの管理がユーザー任せになり、消せば消える
- クライアント端末がランサムウェア等に感染すれば感染が広がる
- メールを保護できていない
- 退職者のデータ保持に困る（M365アカウントを消せばデータも消える）
- NASは数年毎に購入とデータ移行が必要

HYCU R-Cloud SaaS for Microsoft 365 (略称HYCU for M365)とは

バックアップ・アーカイブ・コンプライアンスを一つで提供するクラウドサービス

業種業界・規模・拠点は問わず、どなたでも運用要らずのサービスをご利用できます

- バックアップ基盤は国内のパブリッククラウド上で稼働：お客様による保守は一切不要
- ストレージも込み！データが増えても追加費用ゼロの自動拡張、データ永久保存
- 保存済みデータの改ざん防止、ファイルは世代管理
- ジョブ管理なし（全て自動で作業ミスを排除）
- 日本語含む多言語操作！
- 充実のコンプライアンス対応とセキュリティ対策
- 高速かつ高度な詳細検索
- Exchange, OneDrive, SharePoint, Teamsを保護



Exchangeジャーナリングの活用で、送受信メール全てを保持

- ジャーナリングは、受信および送信電子メールのコピーを外部アドレスに転送することで、組織が法律・規則・および組織の準拠要件に役立つExchange Onlineの機能
- HYCUは組み込み済みのメールサーバーにより、ジャーナルメールを常時受信し、お客様のメールデータを漏れなく保管、しかも改ざん不可の状態でも永久保存！
(※設定により保持期間の指定も可能)
- 社員の方が故意または過失によりメールデータを削除しても、HYCUが全ての保持しているため、データ保護と証拠保持を実現
- HYCUサービス開始以前のメールは初期に実行するバックアップジョブで取得
一度バックアップしたメールは次回以降に再バックアップは行わない

2023-24 DCIG TOP 5 Microsoft 365 Enterprise SaaS Backup Solutionsに選出



評価基準：

- Anti-ransomware / cyber resilience
- Backup
- Billing, configuration, and licensing
- Recovery and restore
- Support

<https://dcig.com/2023/05/2324-top5-microsoft-365-backup-rpt-blg/>

他のHYCUバックアップサービスとの併用による包括保護

他のクラウドサービスや、Okta/EntraIDのシングルサインオン環境も合わせて保護可能

Public Cloud
Amazon Aurora
Amazon DynamoDB
Amazon EBS
Amazon EC2
Amazon RDS
Amazon S3
Amazon VPC
AWS CloudFormation
AWS IAM
AWS Lambda
AWS Key Management Service
AWS Parameter Store
AWS Public Cloud
Azure Compute
Azure GovCloud
Google AlloyDB
Google Artifact Registry
Google Big Query
Google BigTable
Google Cloud Functions
Google Cloud Run
Google CloudSQL
Google Cloud Storage
Google Compute Engine (GCE)
Google Firestore
Google Kubernetes Engine (GKE)

DBaaS/PaaS/SaaS
Asana
Atlassian BitBucket
Atlassian Confluence
Atlassian Jira Service Management - with Assets!
Atlassian Jira Software
Atlassian Jira Work Management
Atlassian Jira Product Discovery
Atlassian Trello
CircleCI
ClickUp
DocuSign
GitHub
Gitlab
Miro
Monday.com
Notion
Okta CIC (Customer Identity, aka Auth0)
Okta WIC (Workforce Identity)
Pinecone
Podio
Redis
Salesforce
Terraform
Typeform
Wrike

自動認識アプリケーション
IBM DB2
Microsoft Exchange
Microsoft SQL
MySQL
Oracle
PostgreSQL
SAP HANA

2024年5-7月対応予定DBaaS/PaaS/SaaS
Amazon Route 53
AWS Web Application Firewall
Box
EntraID (Azure AD)
Google AppEngine

2024年8月以降で対応予定
Ceridian
DocumentDB
HubSpot
ServiceNow
Workday

初期設定のみ、構築要らずの容易な導入

1. サブスクリプションのご購入
2. HYCUがアカウント作成後、Eメールでポータルへのアクセスをご案内
3. 管理者アカウントでログインし、自社のMicrosoft 365を登録、以上



The screenshot shows the HYCU Protégé portal interface. On the left is a dark sidebar with navigation items: ダッシュボード (Dashboard), 詳細検索 (Advanced Search), メールの添付ファイル (Email Attachments), システムのステータス (System Status), インサイト (Insights), and コンプライアンス (Compliance). The main content area features a yellow callout box with three bullet points and three integration cards below it. The cards are for Microsoft 365, Google Workspace, and Hosted Exchange, each with a sign-in button.

- 小規模のお客様から大規模のお客様まで規模を問いません
- 北海道から沖縄まで全国津々浦々をカバーします
- 専門知識が不要、容易な導入を実現します

Microsoft 365
メール、連絡先、カレンダー、タスク、OneDrive、SharePointおよびグループとチーム
Microsoft365でサインインします

Google Workspace
メール、連絡先、カレンダー、タスク、Google DriveおよびShared Drives
Google Workspaceでサインインします

ホストされたExchange
メール、連絡先、カレンダーおよびタスク
Exchangeでサインインします

保存データの高速かつ高度な検索

- メール の件名や本文、添付ファイル、送信者や受信者を対象にした検索
- ファイルを名前や日付で検索

さらに細かな検索条件
の追加も可能

The screenshot shows the '詳細検索' (Advanced Search) interface in the HYCU Protégé application. The search criteria are configured as follows:

- 検索基準: メール (メールボックス、共有メールボックス、パブリックフォルダー) [checked], OneDrive, SharePoint
- 検索種類: メール (メールボックス、共有メールボックス、パブリックフォルダー)
- メールアカウント: 含む (含む) | メールアカウントの選択 | AND (および) | ×
- 日付範囲: 日付範囲 | AND (および) | ×
- 送信元: 含む (含む) | ここに入力 (コンマ区切り) | AND (および) | ×
- 宛先/CC/BCC: 含む (含む) | ここに入力 (コンマ区切り) | AND (および) | ×
- キーワード: 含む (含む) | キーワードの入力 (コンマ区切り) | ×

A blue arrow points to the '+ 詳細の追加' button at the bottom of the criteria list, indicating that more search criteria can be added.

基準の選択

- アーカイブメッセージID
- 添付ファイル
- BCC (ブラインドカーボンコピー)
- 本文
- CC (カーボンコピー)
- 日付範囲
- 部門
- メールアカウント
- メールフォルダー
- メールのサイズ (KB)
- 送信元
- キーワード
- 件名
- タグ
- 宛先
- 宛先/CC/BCC

選択の解除 追加

基準の選択

- 日付範囲
- 部門
- メールアカウント
- ファイル/フォルダー名
- キーワード
- 更新者

選択の解除 追加

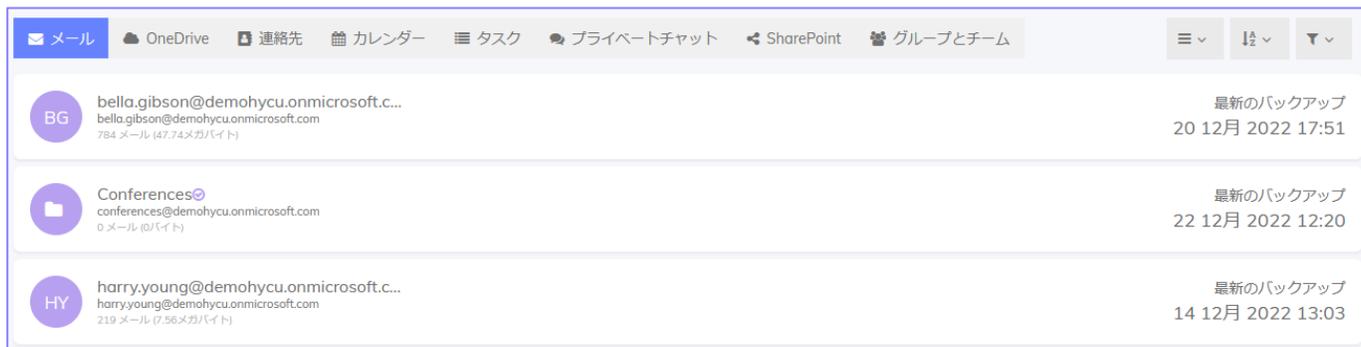
基準の選択

- 日付範囲
- ドメイン名
- ファイル/フォルダー名
- キーワード
- 更新者
- サイト名

選択の解除 追加

データの復元

- メールデータの場合：
 - ✓ 全ての送受信メールを保持することで漏れがない！社員のメール削除の影響を受けない
 - ✓ 元のメールボックスへの復元、後任者へのメール移行等をサポート
 - ✓ 作業担当者の端末にダウンロード
- ファイルデータの場合：
 - ✓ 元のフォルダや異なるユーザー/場所への復元
 - ✓ 世代管理することで、古いファイル/新しいファイルなど世代を指定した復元が可能
 - ✓ 作業担当者の端末にダウンロード



監査ログによる保存データへのアクセス監視

- 運用担当者の監査ログ

- ✓ データの復元やダウンロード、移行などの実行者の行動を記録

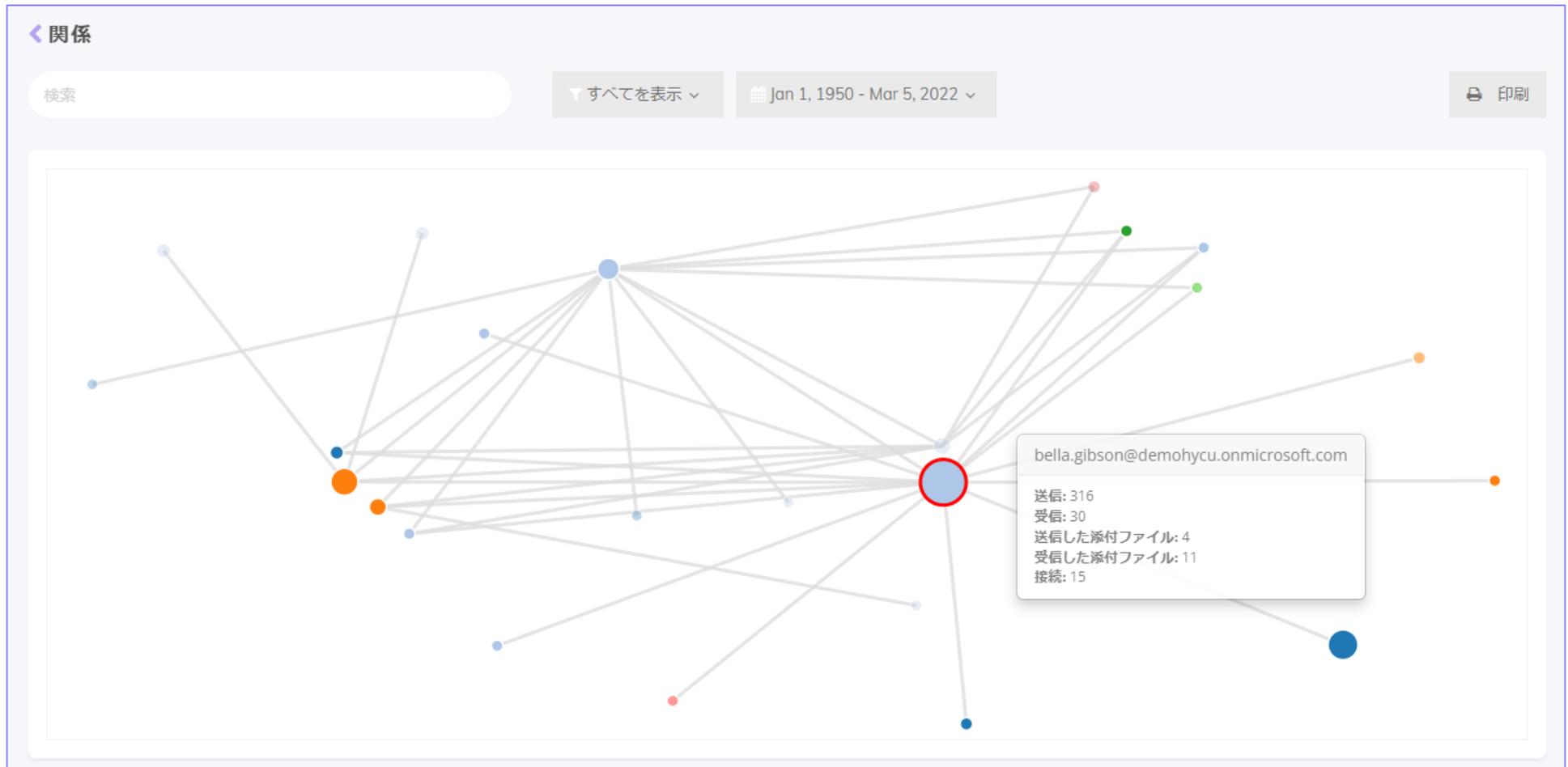
- ✓ 権限付与やシステムへの変更作業も記録

- ✓ システム通知

The screenshot displays the '監査ログ' (Audit Log) interface. At the top, there are tabs for 'ログの検索' (Log Search) and 'ダウンロードリスト' (Download List). Below this, the 'アクティビティの選択:' (Activity Selection) section offers three options: 'メッセージとファイル監査ログ' (Message and File Audit Log) with a selected radio button, 'ユーザーアクティビティ・ログ' (User Activity Log), and 'システムアクティビティ・ログ' (System Activity Log). Each option includes a brief description of the activities it covers. Below the selection area, there are three search filters: '日付範囲' (Date Range) set to '2022/09/23 23:59 - 2022/12/22 23:59', 'ユーザー (オプション)' (User (Optional)) with a 'ユーザーの選択' (Select User) dropdown, and 'アーカイブID (オプション)' (Archive ID (Optional)) with an 'アーカイブIDの入力' (Enter Archive ID) input field. A '検索' (Search) button is located at the bottom right.

メール送受信の関係を可視化

- 社内・社外を問わず社員のメール送受信を全て保持することで、いつ誰から誰宛てにメールのやり取りをしているか把握。統計情報の表示も可能。



eDiscovery - 強力なメール監査の仕組み

- eDiscoveryはメールの詳細検索を基本に、検索結果を保存
- 監査担当者は確認プロセスを実行することで、対象メールを確認し結果を記録可能
不適切なメールのやり取りなどを証拠として抽出

EDISCOVERY

新規の作成 保存された検索

メールアカウント	IN	メールアカウントの選択	AND (および)	×
日付範囲	日付範囲		AND (および)	×
送信元	IN	ここに入力 (コンマ区切り)	AND (および)	×
宛先/CC/BCC	IN	ここに入力 (コンマ区切り)	AND (および)	×
キーワード	含む	キーワードの入力 (コンマ区切り)		×

+さらに基準を追加

名前 名前の入力 (A~Z a~z 0~9)

保存する

確認プロセスの作成 (注意)

この保存済み検索は確認用としてマークされます。マークされたメッセージを確認するには、確認プロセスのページにアクセスしてください。

確認のオプション

- 確認用としてマークする
レビューアーによって精査できるように、すべてのメールをマークします。
- 確認および削除用としてマークする
データ保護オフィサーが確認および削除できるようにすべてのメールをマークします。

注記 (オプション)

- 確認目的にマークするメールが1000を超えると検索に時間がかかる場合があります。
- メールは直ちには削除されません。削除プロセスはデータ保護オフィサーによって手動で実行されます。
- 確認のためのマークは実行で存在する保存済み検索メールに適用されます。
- システムはUID/アーカイブIDではなく、メールIDに基づいてマーク付けをします。そのため、違うアカウントからの同じコンテンツを備えたメールを確認することが可能です。

作成

安心のセキュリティ・コンプライアンス対策

サービスとして提供されるため、バックアップ基盤自体のセキュリティは心配無用



データ転送及び保存時の暗号化

TLS 1.2, AES-256, FIPS-2
certified Amazon KMS



バックアップ基盤は以下の法令・規則に準拠

SOC 1,2 and 3, ISO27001, FedRAMP,
FISMA, DIACAP, DOD CSM Levels 1-5 FIPS
140-2



国際的な個人情報保護法の順守

HIPAA, HITECH act, GDPR,
PDPA (Singapore), Australia
privacy act

HYCUで実現する運用要らずのデータ保護！

主なHYCU選定理由

- 小規模から大規模のお客様
- HYCU選定理由
 - とにかく導入が容易で運用要らず、必要数分のライセンス購入でよい
 - Exchangeジャーナル経由でのメールバックアップにより、メール全てを取得
 - データ永久保存、ファイルの世代管理に加え、容量の追加費用が発生しない
 - 日本では「電子帳簿保存法の改正」により、これまでバックアップしていなかったMicrosoft 365のバックアップの必要性が増えたこと
 - 退職者のデータを保持できること、閲覧・復元が容易なこと
- 宝塚市教育委員会様の事例

https://www.idaten.ne.jp/portal/page/out/mss/hycu/file/CaseStudy_takarazuka.pdf